

マスク着用の考え方が見直されました



新型コロナウイルス感染症対策としてのマスク着用について考え方が見直され、3月13日(月)からマスクの着用は個人の判断が基本となりました。

この見直しを受けて、私たちの生活にはどのような変化があるのでしょうか。マスクの着用とウィズコロナの生活様式について、今一度確認しましょう。

日常的にマスクを着用する必要はなくなりました・・・ですが！

●基本的な感染防止行動の継続



マスク着用の考え方の見直し後であっても、換気・三密の回避・人と人との距離の確保・うがいや手洗いなどの**基本的な感染防止行動**を続けましょう。

マスクの着用について見直されたあとも、新型コロナウイルス感染症拡大前の状況に戻るわけではありません。

新型コロナウイルスは感染が始まって以来、変異を繰り返していて、今後も新たな変異株の出現や感染拡大が懸念されているため、十分に気を付けて生活する必要があります。

●症状がある場合などの対応



症状がある方、新型コロナウイルス感染症の検査で陽性となった方、同居する家族に陽性者がいる方は、周囲の方に感染を広げないために、**外出を控えてください。**

通院などで**やむを得ず外出する時には、人混みは避け、マスクの着用**をお願いします。

●事業者における対応



感染対策上または事業上の理由などにより、**事業者の判断**で、マスク着用を求められる場合や従業員がマスクを着用している場合があります。

厚生労働省や北海道の公式ホームページでは新型コロナウイルス感染症に関する最新情報を公開しています。ぜひご覧ください。

厚生労働省
ホームページ



北海道
ホームページ

